

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



「八日町見守り隊」を含む44人が声かけ模擬訓練を行い、認知症によるはいかい高齢者への声かけの仕方や関係機関への連絡方法を学びました（4月24日、八日町）



西脇しばざくら通りで「100えん商店街」が開催され、各店舗がさまざまな商品を100円で販売しました（5月8日、西脇しばざくら通り）



女性奉仕団体「国際ソロプチミストかず野」の皆さんが、西脇病院に絵本など10冊とアニメDVD4本を寄贈されました（4月27日、西脇病院）



第11回ふぁみり〜カーニバル&播州つながりマーチが開催され、多くの親子連れがさまざまな催しを楽しみました（4月29日、道の駅北はりまエコミュージアム）

プロ野球OBクラブが「未来のプロ野球選手」を指導

〔5月8日 黒田庄ふれあいスタジアム〕



プロ野球OBクラブの皆さんによる指導

全国野球振興会（プロ野球OBクラブ）が主催する「ダイワハウス全国少年少女野球教室」が行われ、25チーム400人の小・中学生たちが爽やかな汗を流しました。「100万人とキャッチボールを！」をスローガンに全国各地として西脇市が選ばれました。

富良野市を表敬訪問—富良野市市制50周年記念式典

〔5月9日～11日 北海道・富良野市〕



市内企業の遠藤織布が播州織で制作した富良野市のPRバックパネルを前に両市長が記念品交換

西脇市の友好都市である北海道・富良野市で市制50周年記念式典が開催され、片山市長や村井議長らが同市を表敬訪問しました。一行は式典に出席したほか、中心市街地活性化の先駆的な取り組み、リサイクルセンターや図書館などの公共施設を3日間にわたり視察しました。

神戸芸術工科大と就職支援協定を締結

〔4月27日 西脇市役所〕



片山市長と神戸芸術工科大学の齊木崇人学長

市と神戸芸術工科大学は、地域経済を支える人材の育成および確保に向けた「就職支援に関する連携協定」を結びました。同大は10年以上前から市の播州織の振興に貢献。調印式で同大の齊木崇人学長は「市と連携しながら新しいモデルとなるような取り組みを進めていきたい」と述べました。



左) 西脇高校生活情報科の生徒ら 右) 同科生徒らが制作した播州織の防災風呂敷
左下) 義援金を届けに来た西脇南中学校の生徒会役員ら 右下) 双葉小学校の児童ら

平成28年熊本地震を受けて、市内の各学校では被災者の方を支援しようと救済物資の制作や募金活動などに取り組まれました。
西脇高校生活情報科の生徒らからは播州織の防災風呂敷200枚を預かり、西脇南中学校生徒会役員の生徒らと双葉小学校や桜丘小学校の児童からは義援金をそれぞれ預かりました。いずれも郵送または日本赤十字社を通じて支援活動に充てられました。
防災風呂敷の生地は播州織産元協同組合を中心に提供され、播州織工業協同組合による撥水加工が施されています。それらを同科の生徒らが1枚1枚裁断し手縫いした上で、手書きのメッセージを添えました。
また、募金活動は児童生徒らが主体となり、参観日やPTA総会、登校時などの場を利用し、保護者や教職員、児童生徒らに協力を呼びかけました。



弓の名手、源頼政公にちなみ「礼射」を披露

平安時代の武将で優れた歌人でもあった源頼政公をしのび、第37回頼政祭が開催されました。長明寺を出発点としたおよそ2.5kmのハイキングに始まり、墓所参拝に続いて、頼政公が怪物「ヌエ」を退治したという伝説にちなみ、兵庫教育大学弓道部の皆さんによる「礼射」が披露されました。矢が的に命中すると、会場内からは大きな拍手が起きました。



飛田安兵衛翁顕彰祭に続いて実施された護摩供養。家内安全・無病息災を祈願

播州織の始祖、飛田安兵衛翁の功績をたたえる「岡の山まつり」が開催されました。平成4年から毎年5月3日に開催される大型連休中の恒例の催し。顕彰祭に続いて護摩供養が行われ、家内安全や無病息災を祈願しました。また、岡之山公園内では、西脇東中学校音楽部の演奏や餅まき、フリーマーケットなども行われ、多くの人が爽やかな休日を楽しみました。

災害支援の輪 市内の各学校で広がる

〔5月2日～19日 西脇市役所〕

飛田安兵衛翁を顕彰

〔5月3日 岡之山公園〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！